

# Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

## 月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000  
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp  
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~はキ-ボ-ドの@の上の^をshiftで変換)

### 今月の小児科診察予定

- 10月14日(体育の日)は9-12時の間、時間外対応します
- 10月29日(火)は午後から大学診察のため時間外対応できません
- 10月18日(金)、10月25日(金)は看護学校勤務のため13時から16時まで休診です
- 10月8日(火)午後は看護学校授業のため時間外対応できません

新連載：今月はこんな月

### 10月はこんな月

10月初旬は運動会の疲れもたまり朝夕が冷え込み気温の寒暖差が強くなるためかぜをひきやすくなります、喘息発作も多くなるため喘息をお持ちのお子さんは注意が必要で軽症のうちに治療を開始しましょう。下旬になるとおなかのかぜ(ウイルス性腸炎)が流行しはじめます、しかし10月はまだ本格的な感染症の時期ではないので予防接種には適しており和歌山市では保健所でポリオの集団接種、各医療機関ではインフルエンザの予防接種が始まります、計画をたてて接種を受けるようにしましょう



今月の顔  
紗輝ちゃんは双子なの、でも今日はひとりでパチリ!

鼻血を繰り返す子供がおります、これは鼻の粘膜の弱い部分を手で触ることにより傷つけてしまうからで、数分で血が止まるようなら鼻を触らないようにし、家庭内処置で様子を見ていただければ結構です、しかし半時間以上も血が止まらない場合や一日に数回以上続く場合は小児科か耳鼻科の診察を受けて下さい

**鼻出血の家庭内処置**

- 1 少し大きめの綿花を出血側の鼻の穴につめる
- 2 (いやがらなければ)でてない方にも詰めたほうがよい
- 3 (短時間でとると再出血する)
- 3 鼻を氷のうなどで冷やす(氷水でうがいさすのもよい)

**副鼻腔炎(蓄膿)**

鼻の奥には空気を暖めてから肺に送るための部屋があり、副鼻腔と呼ばれています。ここには細菌が入り込み炎症をおこすことを副鼻腔炎といいます。水木の腫脹や痛み、頭痛がでることがあります、抗生剤などで治ることも多いのですが長期間続く場合は耳鼻科を受診してください

**インフルエンザの予防接種って必要ですか?**

十月になるとインフルエンザの予防接種が各医療機関で始まります、この時期になると毎年インフルエンザの予防接種が必要ですが、と聞かれることが多くなります。インフルエンザの予防接種は任意接種になりますし、接種しませんが、とおっしゃるかたもおられることと思います、月山病院ではワクチン接種は有効という立場から接種しないという方の意見にお答えしようと思えます

**接種しても効かないのでは?**

確かに接種しても、多く見積ると約半数の人がインフルエンザに罹ってしまいます、ワクチンの効果としては麻疹や風疹に比べ弱いのが現状ですが、それをもって効かないというのは間違いです、脳症や肺炎といった重篤な感染症は予防できるというわけであり、インフルエンザにかかって死亡することは、ほぼなくなり、また家族内での発症も少なくなり、昔、学校で接種(定期接種)していた時期(平成7年頃まで)はインフルエンザによる脳症の報道などあったでしょうか、定期接種していた頃は重症化した人が少なく社会問題にならなかったのです

**副反応がこわい**

確かにワクチンもお薬ですから副反応がないわけではありませんが、現在の製剤は改善され非常に副反応が少なくなっており通常接種される、しかし、や三種混合のワクチンなどよりも副反応はむしろ少ないと言われてます

**毎年それも2回必要?**

インフルエンザは毎年流行する型が少しずつ変化するため、ワクチンも変化させねばなりません、また効果持続期間も短く5ヶ月程度です、毎年の接種が必要で、

**薬ができたのでは?**

数年前よりインフルエンザウイルスに効果のあるお薬が処方できるようになり、今年からは新しいお薬も使用できるようになります、しかし、重篤な合併症である脳症については、極く初期に合併してくるため薬が間に合わない可能性が高く、予防接種の重要性は変わりません

**接種料金がかる**

インフルエンザワクチンは現在、任意接種であり自費での接種になります、しかし、もしインフルエンザに感染してしまつたらどうでしょうか、学校や幼稚園は1週間くらい休まねばなりません、お薬代もいります、保護者も仕事を休まなくてはならないかもしれません、その際の支出(損出)はワクチンの料金を上回るのではないかと思います

**月山病院の接種の方針と実際**

インフルエンザワクチンは有効と考えておりますので、できる限り多くの人に接種していただきたい、と考えております、そのため日曜接種や両親との同時接種も可能にしています、ワクチンの確保も充分にし、体力の続く限り(?)接種する予定ですが、できるだけ早めの予約をお願いします

**インフルエンザの予防接種って必要ですか?**

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

### 連載！赤ちゃんの処置

#### お乳が大きくなった

赤ちゃんのお乳のところが膨れてくる場合があります、ほとんどの場合は乳腺単独の腫脹によるもので心配はいりません。ただし、あまり大きく腫脹する場合、外陰部に変化がある場合、身長が高い場合などは注意が必要で、検査が必要になることもあります、腫脹が続くようでしたら医師にご相談下さい。

	月	火	水	木	金	土	日
午前9時-12時			/				
午後2時-4時							
予約診(専門外来)	/	/					/
予防接種(予約)	/	/					/
午後5時-7時30分	/	/					/

**鼻汁**  
**鼻(鼻汁、鼻出血、副鼻腔炎)**  
 連載！小児科境界領域(この病気は小児科?それとも、)

鼻汁は子供の訴えのなかで最も多いものの一つです、水鼻で軽度であれば放置も可能ですが、あまり粘っこい鼻汁が続くと中耳炎の原因になったりしますのでお薬や処置が必要です  
 お風呂は水蒸気が鼻の粘膜の炎症を抑える作用があるとされていますので熱がなければ湯冷めに注意して入浴していただければ結構です

**鼻出血**

鼻血を繰り返す子供がおります、これは鼻の粘膜の弱い部分を手で触ることにより傷つけてしまうからで、数分で血が止まるようなら鼻を触らないようにし、家庭内処置で様子を見ていただければ結構です、しかし半時間以上も血が止まらない場合や一日に数回以上続く場合は小児科か耳鼻科の診察を受けて下さい